

災害の対策を ジェンダーの 視点から考えよう

【学生・教職員向け】

がんばろう日本

このリーフレットは、東日本大震災の教訓を踏まえ、いつ起こることも知れない災害に対して、女性の視点から日ごろの備えや災害に対する心構えを記したものです。

静岡大学男女共同参画推進室 H27.3

災害に直面したとき

あなたの地域で災害が起こり避難所生活などが余儀なくされると…



生活環境の変化に大きなストレスを感じます。

- プライバシーが守られない ●衛生環境が良くない（トイレ・お風呂・洗濯の問題など）
- 治安が心配 ●食料の確保が難しい ●暑い、寒い、など

☆ 避難所では、限られた空間で多くの人々が集団で生活します。

☆ 誰もが等しく尊厳ある被災生活を送るために、私たちひとりひとりが非難生活づくりに参加することが必要です。

① 避難所の運営

☆ 安心して過ごせる、安全で快適な空間を確保しましょう。

- 女性、高齢者、障害者、乳幼児の居る家族等の被災者については、間仕切りをしたりして、スペースの確保をしましょう。
- 女性の更衣スペース、洗濯物干しスペースを設けましょう。

☆ 衛生の維持に努めましょう

- トイレは男女別（男女比は1：3）とし、仮設トイレは子どもや女性が安全に安心して使えるような場所に設置しましょう。
- 給水施設や入浴施設は行きやすく、見通しのよい場所を選んで設置し、照明をつけましょう。

☆ 治安の確保に努めましょう

- 避難所内で「死角」になるような場所には立ち入らないようにしましょう。
- 女性や子どもへの暴力は、災害時だからといって見逃さず、毅然と対処しましょう。
- 暴力の被害にあった場合は、側にいる友人や信頼できる先生に相談しましょう。
 - ※ 過去の大震災では、女性や子どもに対する暴力が増加したという調査報告があります。自主的な治安パトロール隊を編成するとよいでしょう。

☆ 誰もが援助と保護に十分にアクセスできることが必要です。

- 避難所運営については、男女共に運営に参加し、男性と女性の責任者を配置しましょう。
- 生活者の視点に立ったニーズが把握できるよう女性の意見を積極的に聞きましょう。
- 被災者が求める情報が正確に、避難所のすべての人にわかりやすく伝わるように伝達方法を工夫しましょう。特に移動が困難な障害者や視覚、聴覚障害者の人などに対する配慮をしましょう。

☆ みんなが共同して作業しましょう。

- 避難所では、特定の作業や役割が、男女のどちらかに集中しないように、男女が共に作業を担いましょう。
 - ※ 物資の管理、食事の支度、共有スペースやトイレの掃除、ゴミの処理、防犯（見回り）家の後片付け、復旧作業、イベントの企画・開催 など

② 避難所での生活

☆食料や必要な物資の管理を適正にしましょう。

- 物資等の確保・管理・配給などは、男女双方が平等に担いましょう。
男女で共同して物資を管理し、炊き出しをしましょう。
- 食事の摂取に困難がある障害者や高齢者には食事内容や介助の配慮をしましょう。
妊娠中、授乳中の女性を食料の確保において優先させましょう。

☆暑さ、寒さについて

- 慢性疾患や障害を持つ人、周産期の女性は、余計に衣類や衛生用品が必要です。
また、乳幼児、高齢者は体温調整が難しいので、これらの方については、衣類の配布などに配慮しましょう。

☆ストレスの発散方法について考えましょう。

- 誰もが多くのストレスを抱えます。イベントの開催や誰もが利用できるリフレッシュスペースを確保しましょう。
- 困ったことがあったら身近な友人、信頼できる教員に相談しましょう。
- 男女共同参画推進室 (takenoko@adb.shizuoka.ac.jp) にご相談ください。

いつ起こるかわからない災害に備えて・・・

- 防災訓練や防災に関する学習会などに参加しましょう。
- 避難所の確認しましょう。
- 備蓄物品を確認をしましょう。



備えておくもの

- | | | | |
|-----------------------|----------------|-----------------|-----------|
| ・長袖シャツ、歩きやすい靴 | ・靴下（2枚） | ・軍手 | ・現金 |
| ・非常食（3日分、プルーンもあると良い） | ・雨合羽 | ・水（3日分1人1日1.5L） | ・ラップ |
| ・懐中電灯（電池も） | ・ラジオ | ・筆記用具 | ・ホイッスル（笛） |
| ・トイレットペーパー | ・ロープ | ・ワセリン | ・（紙の）下着 |
| ・常備薬（ビタミン剤なども） | ・マスク | ・生理用品 | |
| ・ローソク、ライター | ・大判ストール（あると良い） | ・帽子 | |
| ・ポリ袋（3枚程度） | | | |
| ・携帯トイレ（1人1日5回使用すると想定） | | | |

*自分で必要だと思うものがあれば加えてください。



あなたの地区の避難地・避難所

(忘れずに記入しておきましょう)

避難地、避難所の確認をしましょう！

ここにかかれてある避難地、避難所は、

大学の所在地（静岡市駿河区大谷、浜松市中区城北3丁目）

学生寮の所在地（駿河区大谷836、駿河区小鹿3丁目、中区蛸塚3丁目）の避難地、避難所の一例に過ぎません。

各自治会等に問い合わせて、最寄の避難地、避難所を確認しましょう。

◎一次避難地とは

警戒宣言が発令された時や地震が起きた時に避難する場所です。

山、崖崩れや津波、家が壊れそうなときに備えます。

避難、情報伝達や応急救護などを行うためのスペースとして設けられています。

◎広域避難地とは

一次避難地が火災になりそうなときは、安全な道を通して広域避難地へ避難します。

◎避難所とは

家が壊れて生活できなくなった人が避難生活をする場所です。

地震が起きた後、建物が安全かどうか確かめてから開設します。

	大谷キャンパス付近	城北キャンパス付近
一次避難地	大谷小学校 静岡大学 片山公園 旧静岡南高校 豊田中学校 静岡県立大学短期大学部	追分小学校 蛸塚中学校
広域避難地	県草薙総合運動場	和地山公園 静岡大学
避難所	大谷小学校 静岡大学 豊田中学校	追分小学校 蛸塚中学校
津波避難ビル	大谷小学校	

☆静岡市H P 避難施設一覧

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/bosai/hinannjotouichiran.html>

☆浜松市H P 避難施設一覧

http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamaj/05disaster/05_5.html

➤ 静岡県地震防災センター <http://www.pref.shizuoka.jp/bosai/e-quakes/index.html>

➤ こころの健康センター <http://www.city.shizuoka.jp/deps/kokoro/>

➤ 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 <http://www.azarea-navi.jp/>

国立大学法人静岡大学 男女共同参画推進室

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836 TEL 054-238-3052、4419 FAX 054-238-3160

<http://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/> takenoko@adb.shizuoka.ac.jp